

県民参加による対話型 ワークショップ（大学生）

福島^の未来をつくるために
大学生の私たちが
できること・すべきこと

郡山会場	令和2年1月11日（土）
福島会場	令和2年1月15日（水）
いわき会場	令和2年1月22日（水）

・SNSを使った発信

・県外の人との交流

・福島について自分が知る

・興味を持つきっかけ作り

・楽しい場所・コトを探す

・自分たちがもっと福島のいいところ
をしる!!

・SNSを利用して情報を発信する。

・県外からきている大学生を利用して
各自の地元伝える。

・福島の郷土料理をレンジ

・福島のおいしいものを伝える!!

● 情報発信をする。

若者に向けて福島に興味がない層を
ひきつける情報発信をすることで、もっと
福島のことを広め、福島県を活性化したい！
SNS、紙媒体... 1人1人が発信していくことが大切。

● 自分たちが福島を知る。

理由: 情報発信をするためには、発信側が
「福島」について知ることが必要！

- 様々なことに興味を持つ。
- ワークショップに参加してみる。

● 大学生が地域に

入っていく

理由: ゼミ等で実際に地域へ行き、
住人のお話を聞くことで、地域へ
の理解を深めることにつながる。

↳ これにより、地域の新たな資源や魅力
の発見も。

・住人の方々の意識を変化させる。

① 子どもに向けた地域愛着形成のための活動

大学生が地域資源や地域の魅力を発見して、それを子どもたちに伝える活動をする。

子どもたちが地域の魅力を知ることによって、若者の都市部への流出を防ぎ、Uターンを促進することがねらい。
(例: マップづくり)

② 高齢者のケア、若者が集落に入る!

・何か大きな問題を解決しようとするのではなく、大学生×地域の人の関わりを増やすことで高齢者の人を元気にしたい!!!

できること...

○ 単位認定型にすることで、持続的に99人の大学生が関わることを目指す。

○ まじぐるーぽという、高齢者の方の所にイテラ、ボランティアグループ、サークルなどの団体を作り、定期的に訪ね、話し相手をしたり、お手伝いをする。

③ ニッチな分野に特化した観光PR

・大々的な観光地ではなく、一定のマニアや日常とは異なる体験をしたい人々向けに地域の観光PRを行う。

・方法として、SNSへの投稿やブログなどを行う。
(できれば定期的に更新)

・個人的な感想や、キレイな景色(あまり知られていない)を行うと良いのではないかと。

課題: 県外流出

- ・地元への愛着がもてるようなイベントと大学生が主催する
- ・大学生が企業する。
- ・優良企業の存在と学生が学生目線の情報発信する。

課題①

情報発信



- 課題
- ・ その時に必要な媒介をゆからない。
 - ・ 情報の扱っ方に詳しい人が少ない。

① 求人発信 ② 風評被害 ③ PR ④ コミュニティ

県内の大学生のコミュニティから
地域のフリーマガジンを発行する。

課題

県内充実(地域充実)

- ・ 大学生が地域に出向いてお手伝い。
- ・ お金を払って、都市部の学生やセブを勧誘
地域のくらしを体験してもらう。

①情報発信 & ②コミュニティ

県内の大学同士で若者向けの
福島の魅力を発信する雑誌等
をつくるコミュニティをつくる!!
(サークルのような)

③若者の移住・定住へのアプローチ

- 住んでいる自分たちが福島について知る。
- 県外出身者と福島だからできることを一緒に経馬喫する。

地域の担い手不足・若手不足

↓ 大学生ができること。

- ・ 福島の色んな所(交通の中心)に足を運ぶ。
- ・ 高齢者が困っている仕事などを ボランティア で行う。
- ・ ボランティアの募集方法としては大学のライブキャンパスなどを使って呼びかける。

情報発信が弱い

↓ 大学生からできること

- ・ 大学生が取り組み、メディアに関心を持たせて取り上げてもらう。
- ・ SNSの活用
- ・ 県外の人に情報発信をすることで大学間の連携を強める。
- ・ 元々住んでいた人、今住んでいる人、県内外問わず、情報発信。

・インターンシップでの
価値感を変える。

・学生が社会問題と
未来を考えるイベントを
開催。

新聞に関心を
持つもらう。

1位

観光名所を 拠点としたマップ作り

県外の人には「ハワイアンス」などの場所を目的
としてくる。その周りはほとんど県外にもいい所がある
から「ハワイアンス」から車で何分というマップを作る。

2位：県外の人々に福島県の魅力を
PRできる機会を作る。

理由：福島県に対して悪いイメージを
持っている人も多いので
そのようなことができれば
福島県のイメージを変えること
ができるから。

③位

SNS活かす!

(ツイッター、インスタ等)

SNSを使って発信する!

若い人が出てい
たいようにまつり行事
を作って参加してもら
う工夫をする。

積極的に

ボランティア活動
に参加する。

SNSで
発信

福祉に関する授業を

学生が「地域の方々へ

向けに行う😊」

誰でも参加できる

イベントの開催

(地域資源の活用)

コミュニティバスもつくり、

バスのペイントが県の

魅力もPR

公園・空き地の
有効活用

(-さびれてる公園が
多い)

これをするのが...次のページ!!

〇〇〇フェス

- ・子どもフェス
- ・さかなフェス
- ・IWAKI Fes
- ・いわきうまいもんフェス
- ・音楽フェス
- ・肉フェス

少子化

SNSで福島を発信!!

福島、町の正しい情報
「Global Network Plus」
日本語 + 外国語
HP、Insta、FB (Follow)

鎌山祭で
「福島の名産品」を
売る!

ボランティア活動